

経営比較分析表（令和6年度決算）

宮城県 串間市

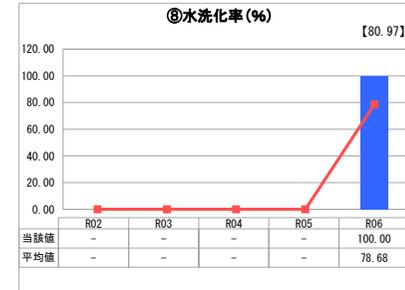
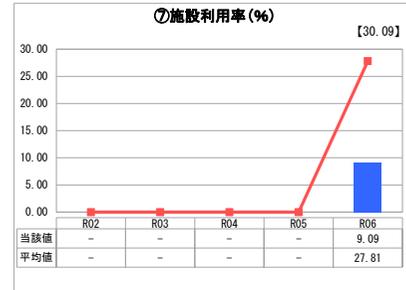
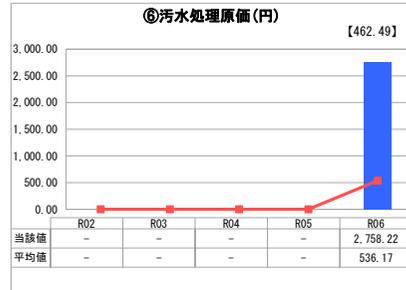
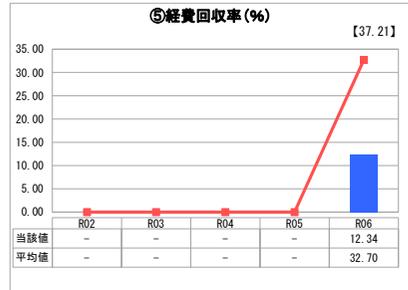
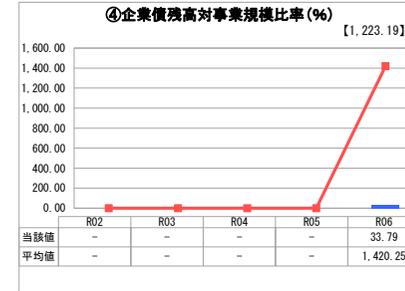
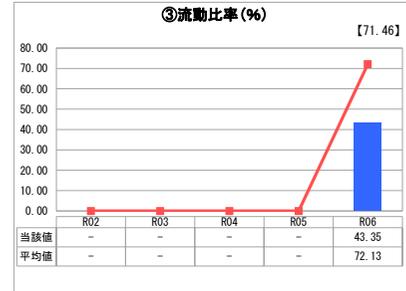
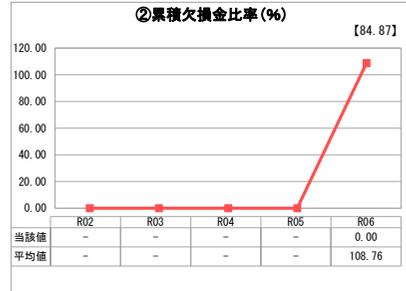
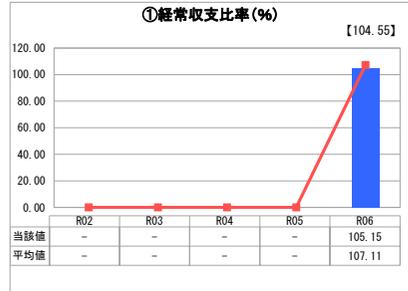
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	85.50	0.03	100.00	2,530

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,047	294.92	54.41
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5	0.04	125.00

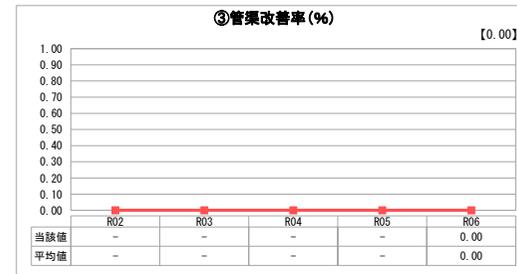
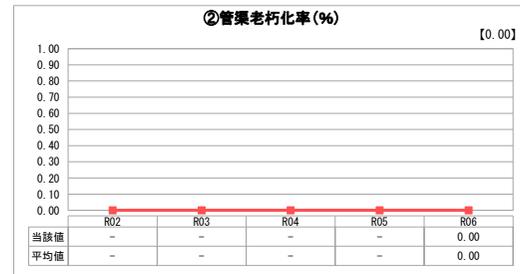
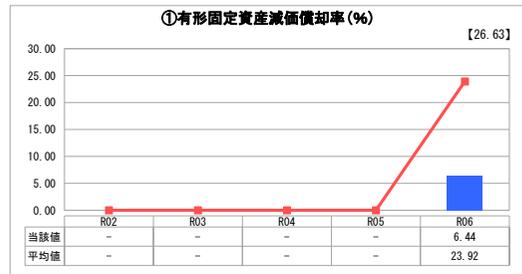
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度から地方公営企業法を適用し、初年度の決算となります。串間市の漁業集落排水は、築島地区（離島）の汚水処理を行っており、規模も小さく、有収水量のわずかな変動が大きく指標に影響するのが特徴です。

「①経常収支比率」については、収支不足分を一般会計からの繰入金等の収益で賄っているため100%を上回っていますが、引き続き費用の抑制を行う等、経営改善に努める必要があります。「②累積欠損金比率」については、引き続き0となるように努めます。

「③流動比率」「⑤経費回収率」については、100%を下回っていることから、使用料収入の増加を図るため料金改定の検討などを行っていく必要があります。

「④企業債残高対事業規模比率」については、近年大きな事業が無く企業債を発行していないため低い状況にあります。

「⑥汚水処理原価」については、有収水量が少ないため類似団体や全国平均と比較すると高い状況にあります。

「⑦施設利用率」についても、有収水量が少なく、施設能力に対する利用率が低い状況にあります。効率性について改善していく必要があります。

「⑧水洗化率」については、水洗化率が100%となっているため、公共用水域の水質保全や快適で文化的な生活環境確保という事業目的は達成しています。

2. 老朽化の状況について

漁業集落排水は、平成12年に供用を開始した施設であるため、老朽化の状況については、現状では問題はありますが、適切に資産管理を行いながら施設の長寿命化を図っていく必要があります。

全体総括

地方公営企業法の適用により、損益情報・ストック情報の把握による適切な経営状況の分析が可能となりました。

水洗化率が100%であることで、公共用水域の水質保全や快適で文化的な生活環境確保という事業目的は達成しています。

しかしながら事業規模が極めて小さく、処理区域内人口の増加が見込めないことから、収益的収支比率が100%を超えるような健全な経営は困難です。

出来る限り、施設の維持管理経費を抑えるとともに、長寿命化を図りながら、適切な経営を行っていく必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。